

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築 (2011年版) | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2011(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	京都大学(中阿達)教育研修施設	階数	地上3F、地下1F
建設地	京都市左京区吉田中阿達町1番	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域・準防火地域	平均居住人員	409 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	3,650 時間/年
建物用途	学校, ホテル,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年9月 予定	評価の実施日	2013年8月15日
敷地面積	2,380 m ²	作成者	藤田 寛
建築面積	1,391 m ²	確認日	2013年8月15日
延床面積	4,803 m ²	確認者	木村 孝一郎



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆

■建設 ■修繕・更新・解体 ■運用 ■オンサイト ■オフサイト

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.4

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		その他
総合	国際社会に於いて、活躍でき、分野の垣根を越えて俯瞰できるリーダーとなれる人材を育成するための、合宿型大学院教育施設である。	
Q1 室内環境	断熱性、遮音性、吸音性はそれぞれの性能を持った材料を採用している。	Q3 室外環境(敷地内) 外部からの光を取り入れる為、充分な開口を設けている。 大開口部にはガラスルーバー等により明るさと直射光の遮蔽を両立させている。
LR1 エネルギー	太陽光パネルを採用している。 ソーラーチムニー等による、自然換気促進、ナイトパージを図っている。	LR3 敷地外環境 型板ガラスルーバーを採用し、ガラス面の反射光を抑制している。
Q2 サービス性能	学生が生活をしながら、切磋琢磨できるゆとりのあるスペースを確保している。 サポートする、教職員陣が機能的に業務が出来るゆとりのあるスペースを確保している。	
LR2 資源・マテリアル	砕石やアスファルト混合物等リサイクル資材を採用している。節水型の便器を採用している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される